



ぽぽぽ...

えっと...
あの...

いん

いん

ぽぽぽ
ぽぽぽ

いん

いん

真夏の
炎天下の日

田舎の
おじいちゃんの家
に
帰省した僕は

八尺様に
出会ってしまいました



ぽぽぽ？
ぽぽっ
ぽぽぽっ？

ああの
近づかないで……っ

ぽっ……
ぽぽぽぽぽぽぽぽぽぽ
ぽぽぽぽぽぽぽぽぽぽ



（こんなに走り回ったのに
汗一つも
掻いてないなんて…）

ぽっ？
ぽぽぽっ♡

（ううっ…
殺されるっ！）





八尺様は僕を
逃がさないように
する為か

あるいは
陣痛の痛みに
耐える為か

僕を掴んで
離さないように
必死でした



ふう...ふう...ふう...ふう...

ふう...ふう...

いっ

ハ尺様...
大丈夫？

ぽっ...
ぽっ...
ぽっ...

いっ

ん

||

ん





…ッ!!
んおおおおおつ!!

おおーっ!!
うおおつ!!

ちちちちっ





おづ!!

おおおおづ!!

いぎづ!

おおおおづ!!

八尺様
叫んじゃダメだよ!



ゲゲ……づ!!

おおおおおづ!!

(凄い
手で触れて分かるくらい
お股が
捲れ上がっちゃってる)

あと少しだよ!

ぎいおおおづ!!





おづ

おおおおおッ!!

ぎいおおおッ!!

おっ♡

ん
キッ

キッ

おっ♡

おっ♡



無事産まれて
良かった…!!

…ぽっ
ぽぽぽっ♡

ところで八尺様
そろそろ
僕を
離してくれないかな?

ぽぽっ♡
ぽぽぽっ♡

あ…
あれ?
聞いてる?

終わり